

岡倉天心
生誕150周年 没後100周年 記念



東海ワンコイン劇場特別編

復興支援映画

監督 松村克弥

プロデューサー 星加正紀

竹中直人 平山浩行 木下ほうか 橋本一郎 中村獅童

渡辺裕之 温水洋一 本田博太郎 キタキマユ 神楽坂恵 城之内正明 石黒賢 (友情出演)

東海文化センター

平成29年2月18日(土)

【上映スケジュール】

【1回目】10:00 【2回目】13:30 【3回目】17:00

◎各回の上映後に監督・プロデューサーによるトークショー(約20分)があります!

【入場券販売】1月21日(土)～

全席自由 500円(税込)

※3歳以上は有料となります。入場券は1枚につき1回、1名様に限り有効

●窓口販売 9:00～/●電話予約13:00～

※窓口販売で売切れした場合、電話予約は行いませんのであらかじめご了承ください。

※上映会当日、会場には午前9時30分から入場できます。

※ホール内での飲食は厳禁となります。飲食の際は休憩室をご利用ください。

【お問い合わせ】(公財)東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター) ☎029-282-8511

主催:(公財)東海村文化・スポーツ振興財団 共催:東海村教育委員会/映画「天心」製作委員会 後援:東海村

信じる日本を、その先にある光を

日本の近代美術に大きな足跡を残した岡倉天心の生誕150年・没後100年。

本作品は、明治という時代にあつて日本の美を『再発見』し、新しい美を生み出そうと苦闘する天心とその弟子である若き画家たち——横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山——の葛藤と師弟愛の物語です。



©2013映画「天心」製作委員会

「東日本大震災」に
より六角堂が流失！

撮影準備中の二〇一二年三月十一日、東日本大震災の大津波により、天心が思索に耽った北茨城市・五浦海岸にあつた貴重な文化遺産「六角堂」も流失し、海中へと没しました。

主要なロケ地である茨城県は甚大な被害を受け、映画化も危ぶまれましたが、一日も早い復興のシンボルとするため、県内の行政、大学、企業、美術界、市民団体などで構成される映画「天心」実行委員会が立ち上がり、六角堂の再建や当時の姿を忠実に再現した日本美術院オープンセットの建設、ロケへの全面協力などの支援を受け、二〇一二年末に無事撮影が完了しました。

さらに、北茨城市出身の石井竜也さんには、映画「天心」の企画当初から全面協力いただき、主題歌をご提供いただくことになりました。

一〇〇年前に
「クールジャパン」を創った
男たちの魂の物語

明治初期、廃仏毀釈の嵐が吹き荒れ、寺が焼かれ、仏像が破壊される中、若き天心はフェノロサと共に伝統ある日本美術の保護に奔走していた。

その後、東京美術学校（現在の東京藝術大学）の校長に就任。横山大観、下村観山、菱田春草ら若き才能の育成に尽力するなど、美術界のエリートコースを歩んでいたが、西洋画派との対立により、辞任に追い込まれる。

天心は、彼を慕う大観ら弟子たちと共に新たな日本画の創造を目指し日本美術院を立ち上げるが、彼らの画法に対する国内での評判は芳しくなく、経営難へと陥ってしまう。

新天地を求め、天心は茨城県五浦海岸に六角堂を建立。

その翌年、ここに日本美術院を移転し、大観、春草、観山、木村武山らと移り住み、壮絶な創作活動に没頭して行くのであったが…。



竹中直人(岡倉天心) 中村獅童(横山大観) 平山浩行(菱田春草) 木下ほうか(下村観山)
橋本一郎(木村武山) 温水洋一(狩野芳崖) 渡辺裕之(九鬼男爵) 本田博太郎(船頭)
神楽坂恵(九鬼波津子) キタキマユ(菱田千代) 城之内正明(飛田周山)
大和田健介(岡倉覚三・若き日の天心) 石黒賢(根本記者/友情出演)

会場のご案内



財団公式SNS 随時更新中!



<https://www.facebook.com/tokai.cs>



https://twitter.com/tokai_cs

お問い合わせ

(公財)東海村文化・スポーツ振興財団
東海文化センター

〒319-1115 茨城県那珂郡東海村船場768-15
TEL 029-282-8511



e-mail bunka.zaidan@tokai-cs.or.jp
P <http://www.tokai-cs.or.jp/>